



# つ北小だより

No. 1

つつじが丘北小学校

平成27年4月6日  
校長 上田 祥市

## 新たな時代へと繋ぐ一年に

校長 上田 祥市

春の柔らかな風に桜の花びらが優しく舞い散る中、つつじが丘北小学校の最後の一年が始まります。平成27年度は、新1年生46名を迎え、全校児童273名でのスタートとなりました。

3月26日から学級園の木々の伐採、伐根が行われ、校舎の増築工事が始まりました。校舎前の学級園のほかに、プール脇に新たな学級園も造られます。夏からは、校舎東側のトイレ工事、校庭東南側に新たに学童クラブも建設され、新校に向けての環境が整えられていきます。

昨年度から始まったつつじが丘南小学校の子供たちとの交流もさらに深めてまいります。4月の演劇鑑賞教室は、両校の子供たちが一緒に劇を楽しみます。新校で6年生となる5年生は、秋に合同の甲府移動教室を行います。全校遠足も同じ日に実施し、昭和記念公園で交流します。他にも、各学年で一緒に見学したり、お互いの発表を見合ったり、お互いに学び合ったりすることも計画しています。

昨年度の交流の様子を見てみると、子供たちはあつという間に仲良くなります。自然に話しかけ、自然に笑い合います。私たちはいつでも子供の笑顔に背中を押されながら前に進めているように思います。新校で両校の子供たちが共に笑顔でスタートできるよう、この1年、両校の保護者、地域の皆さんと手を携えて新校への道を拓いていきたいと思ひます。

新校へと繋いでいくために、大切にしたいことが3つあります。

一つ目は、つつじが丘北小学校の歴史を振り返り、これまでこの学校を愛し、共に歩んでき

た卒業生や教職員、地域の方々への感謝をするということです。閉校をするのは、卒業生や地域の方々にとってやはり寂しいものです。名称が変わり校歌・校章も変わると、同じ場所にあっても無くなってしまふような気持ちになるかもしれません。だからこそ、これまでの本校の伝統をこの一年大切にしたいと思ひます。

二つ目は、つつじが丘南小学校の子供たち・教職員、地域の方々の思いに心を寄せるということです。つつじが丘南小学校は、本校より一年早く開校しました。それから35年でその歴史に幕を下ろします。今の校舎に通えなくなる寂しさは、本校よりもずっと大きなものです。その思いを私たちはしっかりと受け止め、共に新しい時代を拓くパートナーとして信頼を深めていきたいと思ひます。

三つ目は、新校への希望のビジョンを示すということです。新校は、北は西武立川駅から中神駅までの広い学区になります。480~500名の児童数になり、学級数も12~14学級に増えます。また、特別支援学級「杉の子」学級と通級指導学級「そよかぜ」をもつ特別支援教育の拠点校となります。今までとは違う困難な場面にも出会うでしょうが、それはまた学びが増えるということにもなります。子供たち一人一人が自分らしく自信をもって生きていくために、自立と共生（共に理解し合い支え合いながら生きる）の理念を掲げ、昭島の教育の新たな時代をリードする存在として、新校がスタートできるよう尽力していきたいと思ひます。

今年も「教師も子供も生き生きと輝く学校」を目指して、教職員一同力を合わせて参ります。よろしくお願ひします。